

ともあい

2023年度 第1号

☆地域支援による取り組みについて

和泉支援学校では、地域支援整備事業に基づいて訪問/来校相談や研修講師等をおこなっています。昨年度は訪問/来校相談41回、研修講師16回等でした。今回はその中でおこなってきた取り組みのひとつの事例を報告します。

【府立A高校との協働による取り組み】

- 目的：A高校の通級指導教室開設に向けた取り組みや具体的指導の充実など
- 訪問相談等の期間：令和4年3月～令和5年3月の月1回程度
- 取り組みの経過とその内容

月	A高校の役割	B特別支援学校の役割
4	協働に向け管理職を含む両校関係者での取り組み計画の確認	
6	通級指導教室設置校への見学 生徒の実態と通級指導上の課題を協議・共有	対象生徒の集団アセスメント
7	B特別支援学校授業等見学／UD等の工夫を共通理解するための校内研修実施	B特別支援学校の授業内容等の説明と活用への提案
10	通級指導教室スタート	協働で指導・支援の実施
11	心理検査の共通理解と活用	心理検査の実施・結果報告
12	指導の実施と改善・検討	指導場面の見学と改善点提案
1	年度末に向けて、自立活動目標の再共有 保護者への発達検査の報告	
2	生徒理解を深めるためのOTやアセスメントの校内研修実施	研修への参加
3	特別支援教育の理解を深めるための校内研修実施	指導見学・助言/協働まとめアンケートの依頼
	協働したまとめ会議(成果と課題)	

具体的な取り組みとしては、

- ・双方の授業見学や情報共有
- ・対象生徒のアセスメント
- ・指導内容・方法の検討
- ・今後の展望や課題の確認
- ・10月以降はPDCAサイクルによる指導内容の改善
- ・R5.3月取り組み成果と課題の整理などです。通級指導教室担当教員の

特別支援教育の専門性の向上をねらって継続的に取り組みを進めました。当初はコンサルテーションの計画でしたが、A高校担当教員が課題や解決のためのアプローチなど熱意をもってともに考えることで、協働的な取り組みとなりました。

- 今年度も取り組みを継続しており、7月にはA高校の通級指導教室の生徒が本校高等部生徒による就労に向けた実習の事後報告会に参加し、発表を聞きました。



事後報告会の様子

☆小学部「こくご・さんすう」教材紹介

こくご・さんすうの授業では、グループ別の実態に応じた課題を設定し、教材を作っています。実際の生活場面で活用できるように、活動的な内容の学習を展開しています。



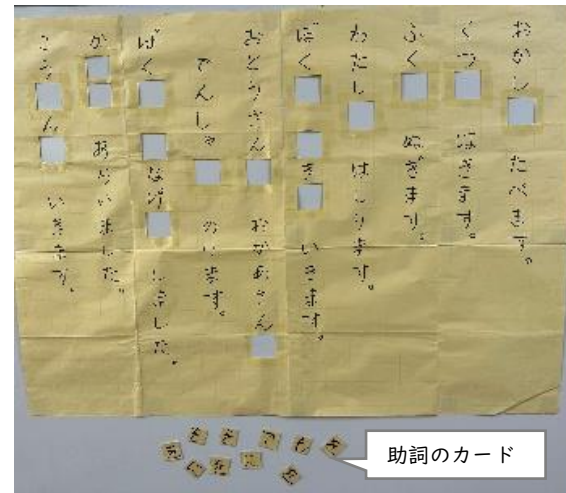
ホワイトボードに示された果物を2つの果物の木から選んですべて取る。

「〇〇から△△番め」
児童や教員の顔写真、動物カードを好きな部屋に貼り、順序数を楽しく学ぶ。

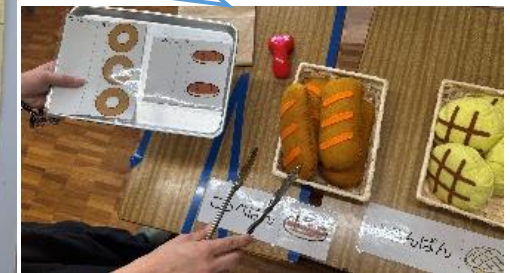
パズル感覚で正しい助詞はどれかを選び、貼っていく。



「ぱんやさんごっこ」
視覚支援カードをたよりに、決まった個数のパンを買いに行く。



助詞のカード



今年度の学校間交流と共同学習の取り組みについて（各部予定）

- 小学部：池上小学校（交流および共同学習）
泉大津市支援学級（移動動物園）
3市1町支援学級（あすなる交流会）
各校居住地校交流
- 中学部：富秋中学校（交流及び共同学習）
和泉中学校（授業交流）
各校居住地校交流
- 高等部：登美丘高等学校（主に吹奏楽部との演奏を通じた交流）
伯太高等学校（主にクラブ活動交流、生徒会交流）

実施内容について、「ともあい」第2号にて今年度中に掲載予定です。